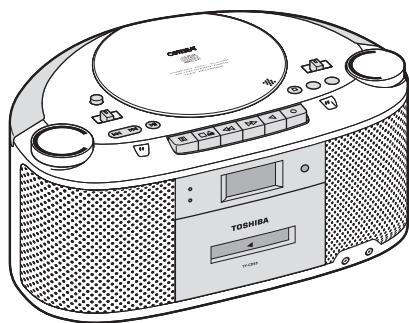
TOSHIBA
Leading Innovation

東芝 CD ラジオカセットレコーダー

取扱説明書

形 名
TY-CDS5

日本国内専用
Use only in Japan

- このたびは CD ラジオカセットレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必要なときすぐに取り出せるように大切に保管してください。

保証書付

保証書はこの取扱説明書の 32 ページについていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

もくじ

ページ

安全上のご注意 必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。

“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止

⃠は、禁止(してはいけないこと)を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示

●は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注意

△は、注意を示します。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠ 警告

火災・感電を防ぐために

異常・故障時には直ちに使用を中止する

●使用中ときどき止まる。
●使用中に異常な音がする。
●本体が変形したり異常に熱い。
●落としたりしてキャビネットを破損した。
●こげくさい“におい”がする。
・発煙・発火・感電の恐れあります。すぐに、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

⚠警告

火災・感電を防ぐために

電源・電源プラグ・電源コードは正しく使う

- 電源は交流 100V のコンセントを使う
- 電源プラグとコンセントのほこりなどはプラグを抜き、定期的に乾いた布で拭き取る
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む

・感電・火災の原因となります。

- 電源コード・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

・感電・ショート・発火の原因となります。

- 電源コードを傷つけない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねない、加工しない、重い物をのせない、挟み込まない、加熱しない

・電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。

- 電源プラグはぬれた手で抜き差ししない

・感電の原因となります。

次のような場所には置かない

- ふろ場など、水がかかったり、湿気の多い場所
- 雨、きりなどが直接入り込むような場所
- 火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
- 直射日光の当たる場所
- 炎天下の車内
- ほこり、油煙の多い(調理場など)場所
- 振動の強い場所
- 腐食性ガス(亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど)の発生する場所
- 極端に高温、低温、温度変化の激しい場所
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所

・感電・火災の原因となります。

分解・修理・改造はしない

・感電・火災の原因となります。

(つづく)

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

けがを防ぐために

CDやカセット挿入口に手を入れない

・けがの原因となることがあります。
・特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

円形ディスク以外は使用しない

・円形以外の特殊な形状（ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。

CDピックアップをのぞき込まない

・レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

機器の上に乗ったり、上に重い物を置いたりしない

・倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。
・特にお子様にはご注意ください。

ヘッドホン、イヤホンの音量を上げすぎない

・耳を刺激するような大きい音量で長時間聞き続けると、聴力障害の原因となります。

乾電池を取り扱うときは、つぎのことを守る

●指定以外の電池は使用しない
●極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
●乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない
●種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
●AC電源で使用する場合は、本体から乾電池を取り出す
●長時間使用しないときは、本体から乾電池を取り出す
●水にぬらしたり、ぬれた手で触れない
・発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
・もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。
・器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

⚠注意

火災・感電・ショートを防ぐために

電源・電源プラグ・電源コードは正しく使う

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く
・プラグの刃の変形、電源コードの断線による感電・ショート・過熱により発火の原因となります。

●持ち運ぶときは、アンテナをたたみ、電源プラグをコンセントから抜く
・けがやコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

●電源コードは付属のもの以外を使用しない
●付属の電源コードを本製品以外には使用しない
・火災・感電の原因となります。

異物を入れない

・金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
・特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

通風孔をふさがない

●壁に押しつけない(背面10cm、左右側面5cm以上の間隔をあける)
●押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まない
●テーブルクロス、カーテンなどを掛けたりしない
●じゅうたんや布団の上に置かない
●あお向け、横倒し、逆さまにしない
・通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になります。

内部に水や異物等が入ったらすぐに電源プラグをコンセントから抜く

・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
・お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

免責事項について

●地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
●この商品の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

著作権について

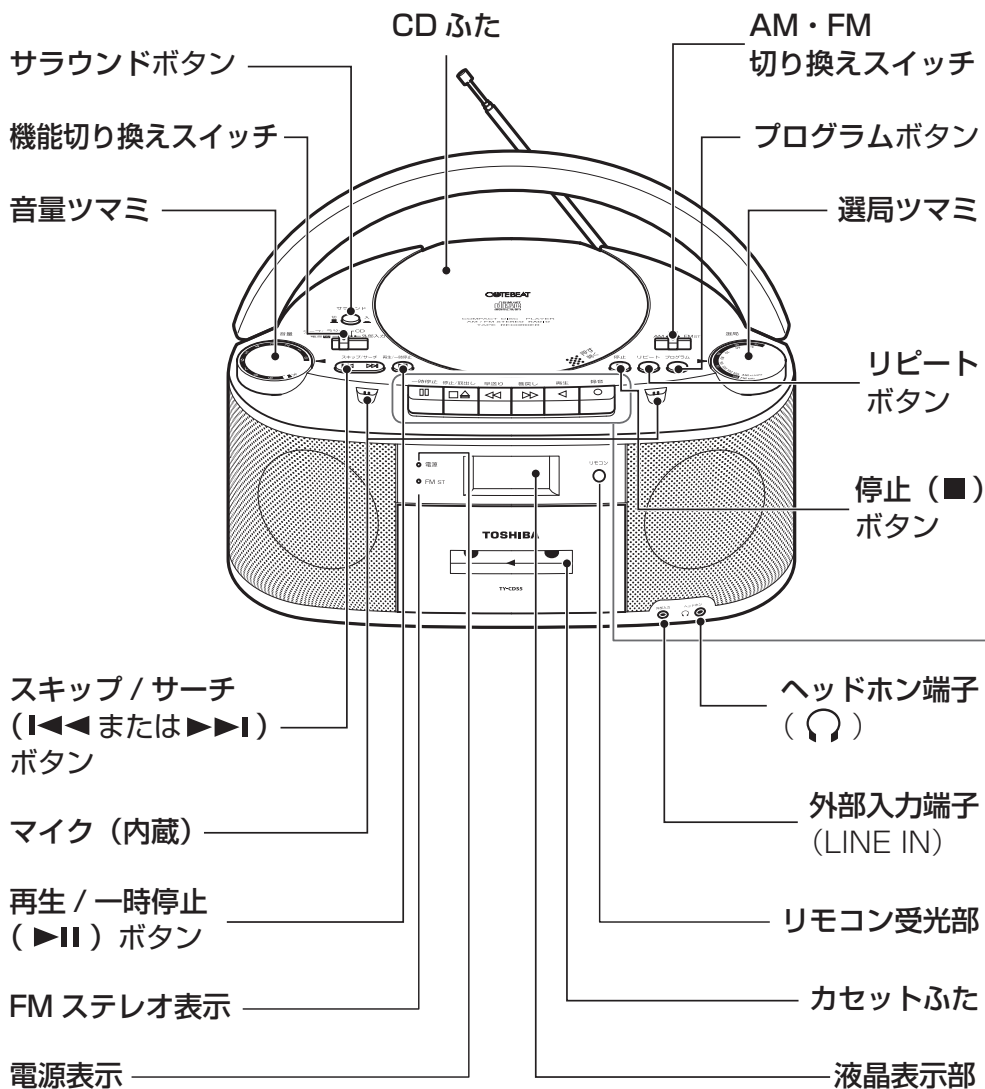
●あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

録音についてのお願い

●録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。

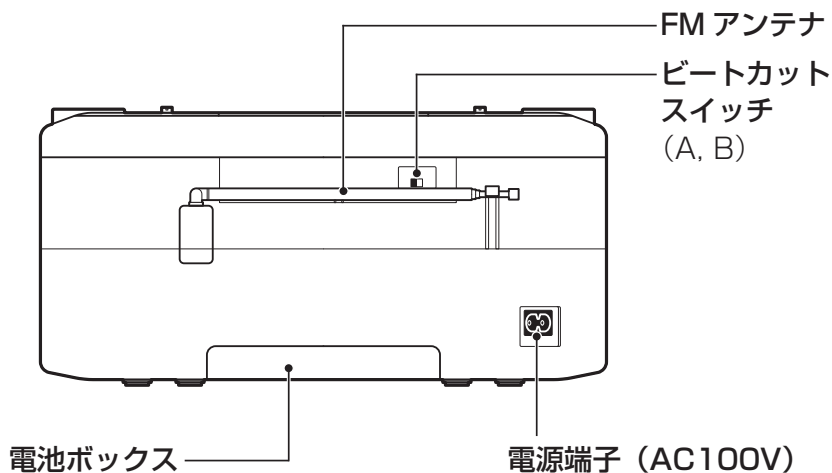
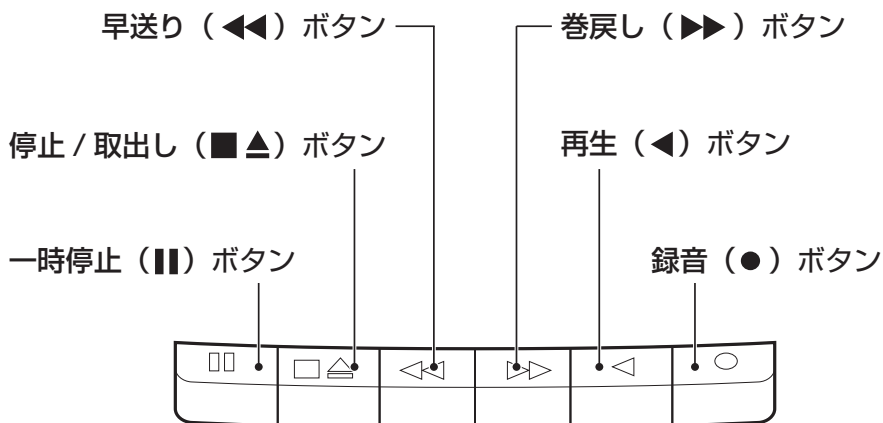
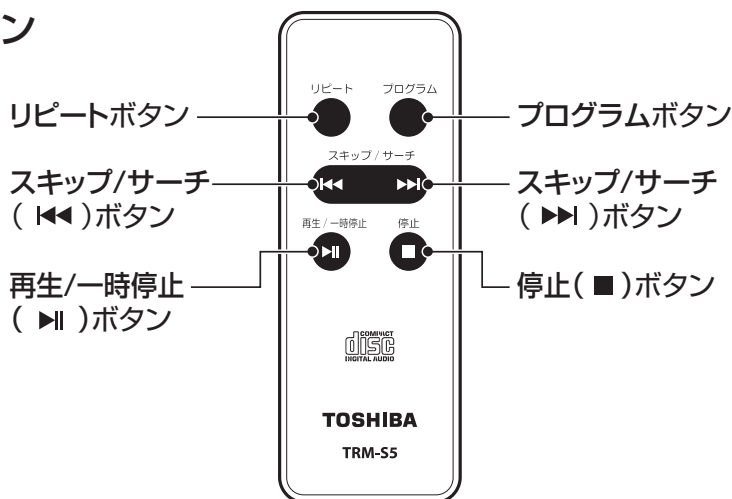
各部のなまえ

前 面

CD・ラジオおよび共通操作部

背 面

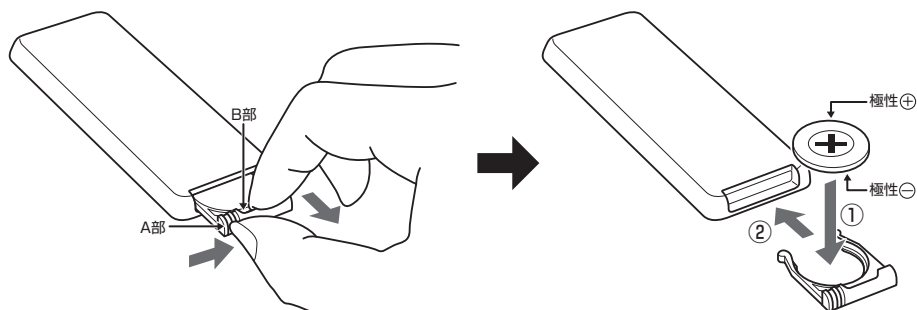
ラジオおよび共通操作部

テープ操作部

（つづく）

各部のなまえ（つづき）

リモコン

ご注意

- CD の操作のみ可能です。
- 本体のボタンと同様の機能です。
- 購入後初めてリモコンをご使用の場合は、電池ケース部の絶縁シート（透明）を引き抜いてください。取付け済（付属）の電池はお試し用です。

電池を交換するとき

電池ケースの A 部を親ゆびのツメで押しながら、人指しゆびのツメを B 部にかけて引き出す。

電池ケースの古いリチウム電池を取り外し、新しいリチウム電池（CR2025）を図のようにはめ込み、パチンと音がするまで押し込む。

ご注意

- 指定以外の電池を使用しないでください。
- 電池の極性（⊕と⊖）は正しく入れてください。

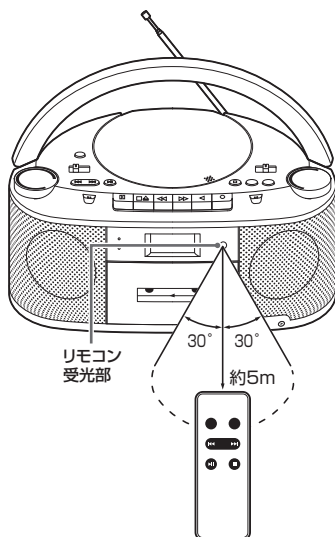
リモコンの使いかた

本体のリモコン受光部の正面から約 5 メートル、左右 30 度の範囲内でお使いください。

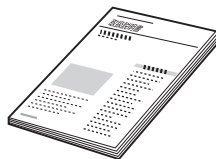
- 各操作ボタンの働きは、本体の操作ボタンに準じます。

正しく動作させるために

次のような場合、リモコンが正しく動作しないことがあります。

- 本体とリモコンの間に障害物があるとき。
- リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき。

付属品

電源コード

リモコン
（電池取付け済）

保証書付
取扱説明書

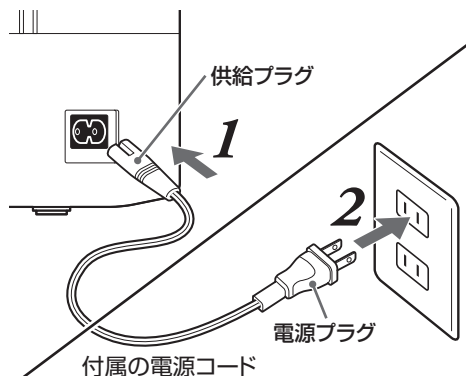
電源について

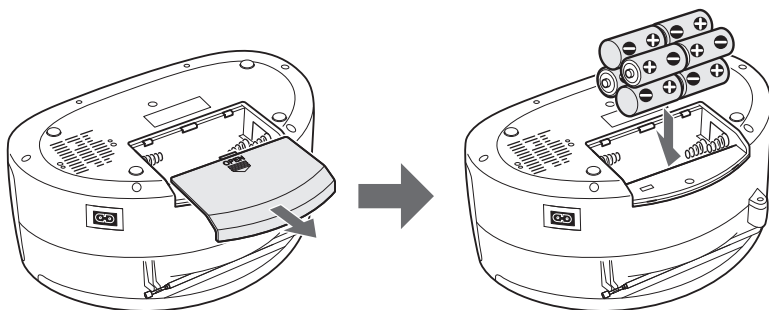
家庭用電源（AC100V）でご使用のとき

1 付属の電源コードの供給プラグを背面の電源端子へしっかり差し込む

2 電源プラグを家庭用電源(AC100V)のコンセントへしっかり差し込む

お願い

● 電源コードを抜き差しするときは、ラジオ/CD/テープ/電源 切/外部入力 を「テープ/電源 切」の位置にしてからおこなってください。

乾電池（別売り）でご使用のとき

電池ぶたを開け、別売の単 2 形乾電池 8 本を図のように入れ、ふたを閉めます。

● 極性（⊕と⊖）を間違えないように図のように入れます。
● 電源コードが電源端子に接続されていると、家庭用電源が優先して働きます。乾電池で楽しむときは、電源コードを外してください。
● 長期間（1 カ月以上）使用しない場合や AC 電源で使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。

乾電池の交換時期は…

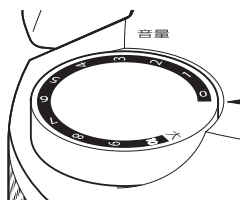
乾電池が消耗してくると、音が小さくなる、音がひずむ、テープ速度が遅くなる、CD やテープが正常に動作しない、などの現象を生じます。

お願い

● 近くに置いたテレビの画面に色ズレを生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。

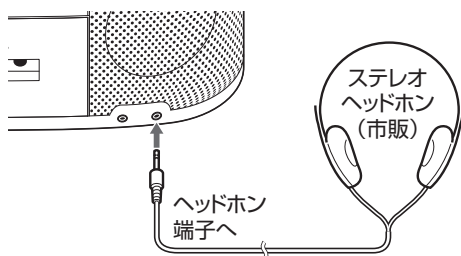
共通操作について

音量調節

［音量］ツマミを回す

● “0” から “10” まで調節できます。お好みの音量に調節してください。

ヘッドホンで聞く

ミニプラグ付のステレオヘッドホン（市販）を前面のヘッドホン端子に接続する

ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。

サラウンド

を押すと、音場が広がり、ライブ感を楽しめます。

もう一度押すとサラウンドが切れます。

お知らせ

広がりの効き方は、聞く音楽によって変わります。

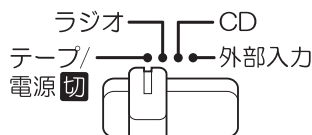
聞き終えるときは（電源を切るときは）

CD、ラジオのとき：

「機能切り換え」スイッチを「テープ / 電源 切」にする

テープのとき：

動作中の場合は 停止/取出し □⏏ を押す

テープを再生の場合は、テープが全部巻き取られると自動的に停止して電源が切れます。

お知らせ

CD、ラジオの録音中に停止しても、「電源 切」にはなりません。

CDを聞く

⚠警告

禁止

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。

□ CDの種類について

マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

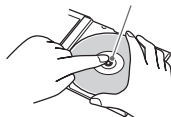
● コピーコントロールCD、特殊形状ディスクなどのCD規格外ディスクを使用された場合には、再生および音質の保証はしかねます。

CD-R／RWディスクについて

● この商品は、CD-DAフォーマット*で記録されたCD-R／RWディスクを再生することができます。ただしディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
● 未記録のCD-R／RWディスクを入れないでください。ディスクの読み込みに時間がかかることがあり、誤って回転中にディスクを取り出そうとした場合、ディスクを傷つけることがあります。
● MP3ファイルを収録したディスクは再生できません。
● VCD（ビデオCD）は再生できません。

□ CDの取り扱いについて

ケースからの出し入れ

出しかた

再生面に触れないように持って出す。

入れかた

上から押さえて入れる。

取り扱い・保管のしかた

● CDに紙やシールを貼らない。
● CDを曲げない。
● 必ず専用ケースに入れて保管する。
● 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かない。

CDのお手入れ

● 再生する前に、再生面についたほこり,ゴミや指紋などを柔らかい布で中央から外側に向かってふいてください。
● シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。

＊ CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている音楽収録用の規格です。

お願い

● ディスクテーブルに輸送用の保護シールが取り付けられています。
はじめてお使いになるときに取りのぞいてください。
● 再生中はCDふたを開けないでください。CDを傷つけることがあります。
● CDふたを開けた状態で、ハンドルを上げたり、持ったりしないでください。
● CDが正しい位置にのっていないと、CDに傷をつけたり故障の原因となります。
● CDが正しく入っていない場合や読み取れないディスクが入っている場合、“－ －”が表示され、再生できません。
● CDに傷、指紋、ほこりがついていると、再生できないことがあります。

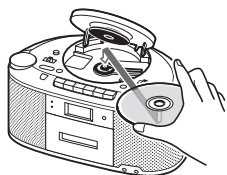
通常再生

1 ラジオ　CD　テープ/電源 切　外部入力 **を［CD］にする**

電源表示が点灯します。

CD 表示部に“-- --”が表示されます。

- CD を装着したままにしておいた場合、総曲数が表示されます。

2 押す 開く **を押して CD ふたを開け、印刷面を上にして CD を入れる**

3 押す 開く **を押して CD ふたを閉める**

（例）12 曲入り

カチッと音がするまで確実に閉めてください。

“-- --”が点滅し CD の読み込みが始まり、約 5 秒後に総曲数が表示されます。

4 再生/一時停止 **を押す**

曲番 01 から再生が始まります。

一時停止

CD 再生中に 再生/一時停止 **を押す**

CD 再生が一時停止します。

一時停止中は▶が点滅します。

もう一度 を押すと、CD 再生が始まります。

（つづく）

CD を聞く（つづき）

聞きたい曲から再生するとき

聞きたい曲番から再生する場合は スキップ/サーチ ⏮ ⏭ を押して曲番を選ぶ

- 再生中や一時停止中に スキップ/サーチ ⏮ ⏭ を 1 回押すごとに再生中の曲番の頭に戻したり次の曲番の頭に進めたりできます。

停止するとき

停止 □ を押す

CD の再生が停止します。停止 □ を押さなくても最終曲が終了すると停止します。

- 停止すると総曲数が表示されます。
- CD を取り出すには
  停止 □ を押して CD の回転を停止させてから 押す 開く を押してください。

お知らせ

CD が停止しても電源は切れません。電源を切るときは、ラジオ CD テープ/電源 切 外部入力 を「テープ / 電源 切」にしてください。

早送り／早戻し

CD 再生中または一時停止中に スキップ/サーチ ⏮ ⏭ を長押しする

- ⏭ を押すと早送りになります。
- ⏮ を押すと早戻しになります。

頭出し

CD 再生中または一時停止中に スキップ/サーチ ⏮ ⏭ を短く押す

- ⏭ を押すと再生中の曲番の次の曲番の頭出しになります。
- ⏮ を押すと再生中の曲番の頭出し、二度押すと再生中の前の曲番の頭出しになります。

プログラム再生（予約した曲順で再生する）

1 CD の停止中に プログラム ◯ を押す

プログラム予約した曲が点滅表示されます。
（プログラム（曲番）の設定は P16 参照）

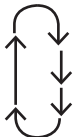
（例）曲番1に3曲目が設定されている

2 再生/一時停止 ▷II を押す

プログラム予約した曲の最初の曲番から再生が始まります。

3 停止 □ を押す

プログラム再生が停止します。

ご注意

● 停止 □ を押すとプログラム再生は解除されます。

リピート再生（繰り返し再生）

1 CD 再生中、リピート ◯ を押す

リピート再生が始まります。
リピート ◯ を押すたびに、次のように変わります：

押すたびに		動作	表示部
↓↑	1 曲リピート再生	同じ曲をくり返し再生	REPEAT
	全曲リピート再生	セットしたCDに収録されている全曲をくり返し再生	REPEAT ALL
	通常	再生	

- 一時停止中、停止中に リピート ◯ を押すと、リピート再生が予約されます。再生/一時停止 ▷II を押すとリピート再生となります。
- 停止中に リピート ◯ を押して“REPEAT”を表示させた場合は、曲番 01 のリピート再生となります。“REPEAT ALL”を表示させた場合は、全曲リピート再生となります。
- 一曲リピートの場合 スキップ/サーチ I◁◁ ▷▷I を押すことで、曲番を変えることができます。

（つづく）

2 停止 **を押す**

再生が停止します。

• リピートモードも解除されます。

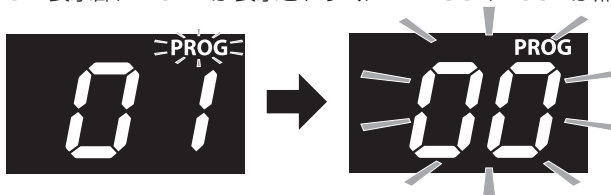
リピート再生の取消

• リピート再生を解除するには リピート ◯ を“REPEAT”または“REPEAT ALL”の表示が消えるまで押します。

• リピート再生中 プログラム ◯ を押してもプログラム再生には切り替わりません。

プログラム（曲順）の設定

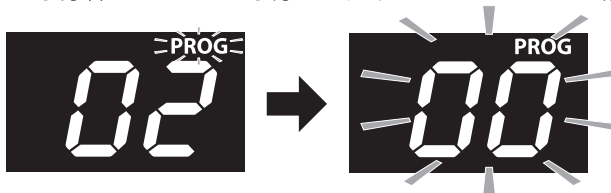
1 **停止中、** プログラム ◯ **を押す**

CD 表示部に“01”が表示されすぐに“PROG”、“00”が点滅します。

2 スキップ/サーチ ⏮ ⏭ **を押し、プログラム予約をしたい曲番を選ぶ**

スキップ/サーチ ⏮ ⏭ を押すごとに、曲番が点滅表示されます。

（例）3 曲目を選ぶ

3 プログラム ◯ **を押し、決定する**

CD表示部には“02”が表示されすぐに“PROG”“00”が点滅します。

4 次の曲番をプログラム予約するときは、同様に、

と を繰り返して押してプログラム予約をする

（例）4 曲目を選ぶ

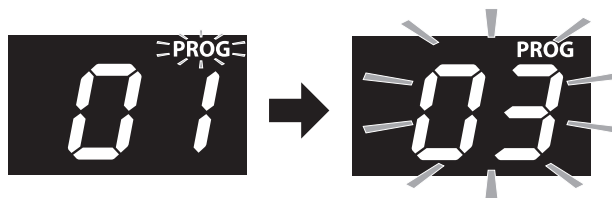
5 を押す

次のプログラム番号が表示されすぐに "PROG" "00" が点滅、プログラム予約が確定します。

- お好みの曲を 20 曲まで選んでプログラムすることができます。
  21 曲目以降をプログラムしようとすると 1 曲目の設定に戻ります。

6 プログラムの設定を終了する場合は、"PROG" "00" が点滅中に再度 を押します

プログラム

プログラム 1 で選んだ曲番が点滅表示されます。

（例）プログラム 1 に曲番 3 を選んでいる

（つづく）

プログラムの確認

1 **プログラム再生中に** **を押す**

CDの再生が一時停止します。

2 スキップ/サーチ **を押す**

スキップ/サーチ を押すたびに、プログラムした曲番が表示されます。

• 曲番が表示されたところで、再生/一時停止 を押すと表示されている曲から再生が開始されます。

プログラムした曲番の変更

1 **CD の停止中に** **を押す**

プログラム を押すたびにプログラム予約した順に曲番が表示されます。

このとき曲番は点滅します。

2 **変更したい曲番が点滅しているとき、** **を押す**

プログラム予約した曲番が変更されます。

（例）曲番 3 を曲番 5 に変更

3 プログラム **を押す**

プログラム予約の曲番変更が確定します。

• プログラムした曲と曲との間に新しい曲を追加したり、削除することはできません。

プログラム設定を取り消す

1 CD の停止中に プログラム を押す

“曲番”と“PROG”が点滅します。

2 CD表示部の表示が“00”になるまで プログラム を押す

3 停止 □ を押す

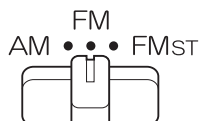
プログラム設定が取り消され、“PROG”表示も消えます。

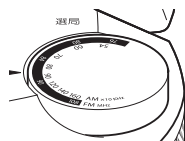
- CDを交換したときや機能切り換えスイッチを切り換えたときもプログラムは取り消されます。

ラジオを聞く

1 ラジオ／CD／テープ/電源 切／外部入力 を「ラジオ」にする

電源表示が点灯します。

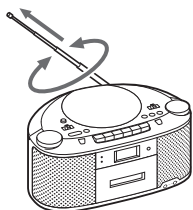
2 [AM・FM 切り換え］スイッチで希望のバンドを選ぶ

（例）FM を選んでいる

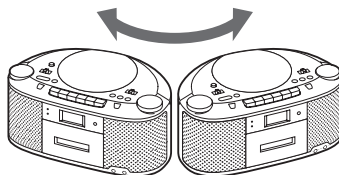
3 [選局］ツマミで希望の放送局に合わせる

4 ラジオを切るときは ラジオ／CD／テープ/電源 切／外部入力 を［テープ / 電源 切］に切りかえる

電源が切れます。

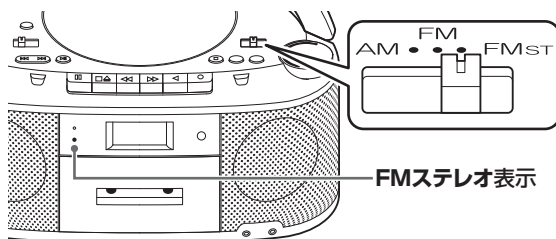
よりよい受信をするために

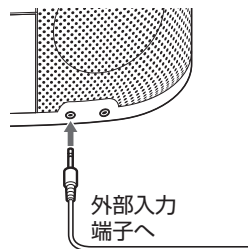
FM 放送

アンテナを伸ばし、最も良く聞こえる方向に向けてください。

AM 放送

本体の向きを変えてください。

FM ステレオ放送の受信について

[AM・FM 切り換え] スイッチでステレオモード「FM ST」とモノラルモード「FM」を切りかえることができます。
ステレオモード時に FM ステレオ放送を受信すると、**“FM ステレオ表示”** が点灯しステレオになります。

●受信状態が悪く音声が聞き取りにくい場合は､モノラルモード「FM」にするとステレオになりませんが聞きやすくなります。
●AM ステレオ放送には対応していません。

外部の音声機器を聞くとき

携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーなどのイヤホン端子、ヘッドホン端子と本機前面の外部入力端子を 3.5 φステレオミニプラグ付接続コード（別売）でつないで、本機のスピーカーから音声を楽しむことができます。

1 ラジオ CD テープ/電源 切 外部入力 **を「外部入力」にする**

電源表示が点灯します。

2 **外部に接続した音声機器を再生する**

3 **［音量］ツマミで音量を調節する**

外部に接続した音声機器で、音量を調節することもできます。

テープを聞く

1

を［テープ / 電源 切］にする

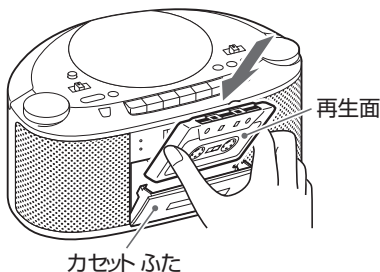
停止/取出し

2 □△ **を押して、カセットふたを開けテープを入れる**

再生する面を手前にして、テープが見える方を上にして入れます。

3 **カセットふたを閉める**

再生

4 ◁ **を押す**

再生が始まります。

停止/取出し

止めるときは □△ を押す

もう一度押すとカセットふたが開きます。

- 再生・録音・早送り・巻戻し・一時停止中は、電源表示が点灯します。
- 再生・録音・早送り・巻戻し中にテープが全部巻き取られると、自動的に停止します。

一時停止

一時停止

再生中に ▯▯ **を押す**

もう一度押すと再び再生が始まります。

テープを聞く（つづき）

早送り、巻戻し

停止時に [早送り ◁◁] **または** [巻戻し ▷▷] **を押す**

希望のところにきたら [停止/取出し □≙] を押します。

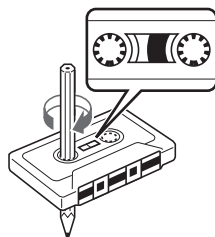
お願い

●再生・録音中に [早送り ◁◁] または [巻戻し ▷▷] を押さないでください。テープ巻き付きの原因になります。
●ボタンは確実に操作してください。同時に押したり、乱暴に切りかえるとテープ巻き付きの原因になります。

カセットテープについて

ノーマルテープ（TYPE1）をご使用ください。

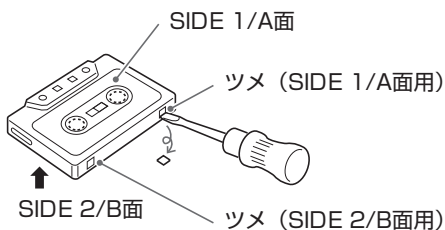
●ハイポジション（TYPE2）やメタル（TYPE4）テープは、再生できますがその特性を活かすことはできません。また録音すると正しく録音・消去できません。エンドレステープは使用できません。
●100分以上の長時間テープはたいへん薄く、伸びやすいため、機械に巻き込むおそれがありますので、使用しないでください。

テープがたるんでいるときは、鉛筆などでたるみをとってから使ってください。テープ巻きつきなどの原因になります。

次のような場所には保管しないでください。

●ほこりの多いところ。
●磁気の発生するところ。
●高温や湿気の多いところ。

大切な録音を消さないために

録音済みテープを入れた状態で
[録音（●）] ボタンを押さないでください。
録音した内容が消去されます。

●カセットテープの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。
●誤ってツメを折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで誤消去防止穴をふさいでください。

録音する

1 停止/取出し □≜ **を押して、カセットふたを開けテープを入れる**

録音する面を手前に、テープが見える方を上にして入れます。

2 **カセットふたを閉める**

録音を始めるテープ位置で停止させておきます。

3 **●CDを録音するとき：**

を［CD］にして、CD を入れる（13 ページ）

●ラジオを録音するとき：

を［ラジオ］にして、放送を受信する（20 ページ）

●内蔵されたマイクで録音するとき：

を［テープ / 電源］にする（27 ページ）

●外部機器を録音するとき：

を［外部入力］にして、外部機器を再生する（22 ページ）

4 録音 ○ **を押す**

再生 ◁ も同時にさがり、録音が始まります。

（つづく）

録音する（つづき）

録音を止める

録音中に 停止/取出し［□≜］を押す

録音が止まります。

●CD 録音中に 停止/取出し［□≜］を押しても、CD は止まらず再生を続けます。CD を止めるには CD の 停止（□）を押します。

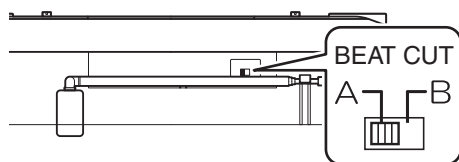
●ラジオを録音中に 停止/取出し［□≜］を押しても、ラジオを受信したままになります。

録音の一時停止

録音中に 一時停止［▯▯］を押す

もう一度押すと再び録音が始まります。

録音中にビート音が出るときは

ラジオを録音中、ビート音（「ピー」という音）がでることがあります。
その場合には背面の **［ビートカット］** スイッチをビート音が小さくなる位置（A または B）に切りかえてください。

CD の録音について

• 希望の曲から録音するときは、曲番を選び 録音［○］を押す。

• 希望の曲だけを選んで録音するときは、プログラム設定（16 ページ）をして CD 表示部に "**PROG**" を表示させておきます。

• CD の再生中に 録音［○］を押すと、曲の最初から録音されます。

• 録音したい曲の最初を聞いて確認し、録音［○］を押します。

• CD の一時停止中に 録音［○］を押すと、そこから録音が始まります。

ステレオマイク（内蔵）から録音する

1 停止/取出し［□≜］**を押して、カセットふたを開けテープを入れる**

録音する面を手前に、テープが見える方を上にして入れます。

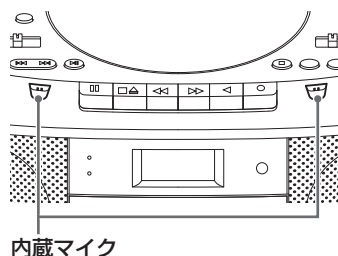
2 **カセットふたを閉める**

録音を始めるテープ位置で停止させておきます。

3

を［テープ / 電源 切］にする

4 録音［○］**を押す**

再生［◁］も同時にさがり、マイクからの音声を録音します。

お知らせ

- ●録音レベルは自動的に設定されます。
- ●録音中に音量ツマミを回しても、録音されるテープの音量は変わりません。
- ●録音中、録音レベルは自動的に設定されます。
- ●ラジオまたは CD を録音中に **［テープ / 電源 切 ］** にしても電源は切れません。**［テープ / 電源 切 ］** に切りかえたときから **［内蔵マイク］** 録音になります。
  テープを停止するには 停止/取出し［□≜］を押してください。
- ●録音状態にして 一時停止［▯▯］で録音を開始 / 停止させると、録音スタート、ストップの遅れやノイズを軽減できます。

お手入れのしかた

テープヘッド部

テープを再生または録音すると
●音が悪い　●きれいに録音できない　●前の音が残っている　●テープが巻きつく
などの症状がでた場合、その多くはヘッドやピンチローラーおよびキャプスタンの汚れが原因となっていますので、市販のクリーニングキット（またはクリーニングテープ）をお買い求めのうえ､ヘッド部分を掃除してください。掃除はできるだけ早目（約 10 時間程度使用ごと）に行ってください。

停止/取出し □⏏ を押してカセットふたを開け、市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、テープが触れる面を軽くふいてください。カセットはアルコールが完全に乾いてから入れてください。

●長い間使っていると、ヘッドが磁化されて雑音が入ったり、音質が悪くなったりします。
このようなときは、市販の消磁器でヘッドを消磁してください。

CD ピックアップ（レンズ）部

CD 装着部のレンズが汚れると、音とびが起きたり、再生ができなくなったりします。
ほこりなどは、市販のブロワーでレンズを 2、3 回吹き、ブラシの先でほこりを掃き出します。指紋などレンズについた汚れは、市販のレンズクリーナーを綿棒につけ、レンズの中心から外に向かって、円を描くように軽くふいてください。

露つき（結露）について

周囲の温度が急激に変化した場合､内部のレンズに露（水滴）が発生することがあります。
この状態では正常に CD を再生できないことがあります。
このような場合、CD を取り出し、本機を使用される場所で約 1 時間放置した後、ご使用を開始してください。

本体・リモコンのお手入れ

柔らかい布で汚れを軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

●ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。また、キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

故障かな？と思ったとき

症　状	原　因	処置方法
音がでない	●電源プラグがはずれている ●乾電池が消耗している ●音量レベルが下がっている ●ヘッドホンが差し込まれている ●機能切り換えが合っていない	●プラグを確実に差し込む ●乾電池を交換する ●音量レベルを調節する ●ヘッドホンをはずす ●機能切り換えを合わせる
CD プレーヤー部		
再生がはじまらない	●CD が裏返しになっている ●CD が汚れている ●CD 装着部のレンズが汚れている	●印刷面を上にして入れる（13 ページ） ●CD をとりかえる ●清掃する（28 ページ）
音がとぶ	●CD に大きな傷やそりがある ●振動する場所に設置している ●CD 装着部のレンズが汚れている	●CD をとりかえる ●振動のない場所に設置する ●清掃する（28 ページ）
再生が止まる	●乾電池で再生中に電源コードをつないだ	●電源コードを外し、乾電池を取り出してやり直す
テープレコーダー部		
カセットが入らない カセットふたが閉まらない	●カセットの向きが上下逆になっている ●カセットが正しく入っていない	●テープの見えている方を上にして入れる（23 ページ） ●カセットを正しく挿入する
テープが走行しない	●カセットの不良 ●テープが全部巻き取られている	●カセットをとりかえる（24 ページ） ●カセットを裏表入れ替える
録音ボタンが押せない	●ツメの折れたカセットを装着している	●カセットをとりかえる（24 ページ） ●録音し直すときは、セロハンテープで誤消去防止穴をふさぐ（24 ページ）
録音ボタンがロックできない	●カセットの不良	●カセットをとりかえる（24 ページ）
音がとぎれる、音程が狂う 消去が不完全	●ヘッド部が汚れている ●ハイポジションやメタルテープを使っている ●乾電池が消耗している	●清掃する（28 ページ） ●ノーマルテープを使用する ●乾電池を交換する
ラジオ部		
雑音が多く聞きづらい	●電源雑音の影響を受けている ●モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている ●電波が弱い	●電源プラグを差し換えてみる ●本機を雑音源から離す ●テレビを消す ●アンテナを調節する（20 ページ）

お願い

●CD の再生中に、表示や動作が異常になった場合は、［機能切り換え］スイッチを一度［電源切］にしてから電源コードを外し、乾電池を取り出して、再度電源コードをつないでから「CD」に戻して、操作しなおしてください。

●長時間使用していると、キャビネットの一部が多少熱くなることがありますが故障ではありません。

仕　様

CD プレーヤー部

チャンネル数	2 チャンネルステレオ
サンプリング周波数	44.1kHz
再生可能ディスク	CD、CD-R/RW（CD-DA フォーマットで記録されたディスク）

テープレコーダー部

トラック方式	4 トラック、2 チャンネルステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	マグネット消去
早送り・巻戻し時間	約 120 秒（60 分テープ片面）
推奨テープ	コンパクトカセットテープ 90 分以下

ラジオ部

受信周波数（*）	AM：540kHz ～ 1,600kHz FM ：76MHz ～ 90MHz

共通部

実用最大出力（*）	2.2W + 2.2W（総合 4.4W）
スピーカー（*）	74mm φコーン型（8 Ω）× 2
内蔵マイク	ステレオ
入出力端子	外部入力：ライン、3.5 φステレオミニジャック ヘッドホン出力：3.5 φステレオミニジャック
電池持続時間（*）	TOSHIBA R14AG（アルカリ乾電池）使用時 ラジオ受信時：約 38 時間 テープ再生時：約 30 時間 ＣＤ再生時：約 15 時間
電源（*）	AC 100V、50 ー 60Hz DC 12V、単 2 形乾電池× 8 本（別売）
消費電力（*）	15W
最大外形寸法（*）	300（幅）× 140（高さ）× 196（奥行）mm (ボタン・ツマミ等の突起物含む、ハンドル含まず）
質量（*）	約 2.0kg（乾電池含まず）
付属品	電源コード（コード長：約 1.5m)、リモコン（電池取付け済） 取扱説明書（保証書付）

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。
(*）印は（社）電子情報技術産業協会の定める「JEITA 規格」による測定値。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス 必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エルイートレーディングサポートセンター

フリーダイヤル **0120-28-0488**
受付時間：365日 9:00～20:00
携帯電話・PHSなど
ナビダイヤル **0570-01-0488**（通話料：有料）
FAX
03-3258-0470（通信料：有料）

• お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
• 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

● 保証書は、この取扱説明書の 32 ページに記載されています。
● 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
● **保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。**

補修用性能部品の保有期間

● CD ラジオカセットレコーダーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 6 年です。
● 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

● 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。
● 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

● 29 ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、必ず電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　）

愛情点検

長年ご使用の機器の点検をぜひ！

このような症状はありませんか。
● 電源コードが傷んでいる。
● 煙が出る。
● 変な臭いがする。
● その他の異常・故障がある。

ご使用中止 ▶ 故障や事故防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝CDラジオカセットレコーダー保証書

持込修理

形名		TY-CDS5			
★お客様	お名前	ふりがな　　様			
	ご住所	〒□□□-□□□□			
	電話	市外	市内	番号	呼
保証期間	本体	1年	★お買い上げ日　　年　　月　　日から		
★ご販売店	住所・店名 電話				

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝エルイートレーディング株式会社

〒101−0021　東京都千代田区外神田2−2−15（東芝昌平坂ビル）

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理･改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ）車両・船舶などに、備品として使用した場合に生ずる故障および損傷。
   （ト）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝エルイートレーディングサポートセンターへご相談ください。

修理メモ　修理年月日	修　理　内　容	担当
年　月　日		
年　月　日		

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝エルイートレーディング株式会社

〒101−0021　東京都千代田区外神田2−2−15（東芝昌平坂ビル）